

11月28日・29日の2日間にわたって、安曇野市の主要な施設や、懸案の建設事業などに関わる予定地を視察。各地域(旧5町村)から引き継がれた事業計画について、理解を深めることができました。

▼明科：子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」



▼穂高：安曇野高橋節郎記念美術館



▼堀金：新築された堀金小学校の図書室



三郷：安曇野みさと菜園 ▲



▲豊科：南部総合公園

市民の声

安曇野市初定例会一般質問を傍聴して

佐伯 治海 さん (70歳 穂高)



新市発足後初の一般質問が堀金総合支所の議事堂で開催され、私は、3日間21名の一般質問を傍聴でき充実した時を過ごした。

市民の信任を得た28名の議員が、理事者と対峙し席につき緊張のなか熱心な討議が行われた。質問事項は

多い順に、観光・環境・まちづくり17名、行政改革14名、教育・子育て・防犯11名、農業・商工業10名、健全財政・予算8名、福祉・日赤病院7名、公共交通網7名、他であり、質問の重複が多く、一般的には抽象的の感があったが、初質問でもあり、選挙区代表の色合いもあったと思う。今後は貴重な時間を有効に使うよう、会派での調整や、各議員が専門分野を確立し、重点的な追及また条例等の具体的提案を期されたい。

会場内にモニターを設置し質問者の真剣な表情、各議員の前向きな姿が傍聴者に見えるよう、配慮をお願いしたい。住民の合意形成をとり、住民参加の足腰の強い自治体の基礎づくりを援助し、議員として説明責任を果し、あづみ野の特徴である、田園都市づくりをお願いしたい。そして市民の皆様も、もっと議会に関心を持ち、議場に於て生の声を傍聴することは住民の義務と思う。

編集後記

安曇野市議会の新たな出発にあたり、「安曇野市議会だより」の創刊号をお届けします。

初議会での市長のあいさつには「自治能力の向上」という言葉がありました。議長は「民主的で透明度の高い議会に」、そして副議長は「議会の情報公開の重要性」を、それぞれ述べております。密室政治になりがちな議会の透明性を高め、住民に開かれた議会にしたいこと、これなくして「自治能力の向上」はありません。

議会の情報公開を進め、市民と議会と行政の関係性をよりよくしていくことが、「開かれた議会」へとつながります。議会だよりは、そのような「議会を開く」ための大切な手段です。

さまざまな角度から、議会での議論を市民に伝えながら、市政や議会への親しみが増し、関心が高まるような紙面作りをめざして努力を重ねてまいります。

議会にこそ、市民からの評価が必要です。お気軽にご意見等お聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

市民の皆様のご理解をお願いいたします

議員による時候の挨拶状をはじめ寄付などの行為については、公職選挙法により禁止されております。安曇野市議会

本紙は再生紙を使用しています。